

～映画好きの彼女と、映画の話をしよう。～

「映画愛」をコンセプトにしたキャラクタープロジェクト『A Cinematic Girl』  
からAI会話サービスが登場！東京国際映画祭のコンシェルジュに！第39回東京国際映画祭の上映作品から、日常のおすすめ映画まで。  
映画好きの彼女との会話を通じて、新たな映画との出会いを届けるサービスがスタート。

テアトルシネマグループ（運営：東京テアトル株式会社）が展開する「映画愛」をコンセプトにしたキャラクタープロジェクト『A Cinematic Girl（ア・シネマティック・ガール）』が、生成AIを活用した対話型AIエージェントとして新たに登場します。

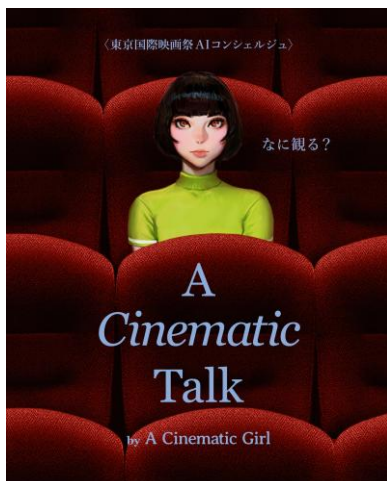
映画が大好きなキャラクターとおしゃべりすることで、その日の気分や好みに合わせたおすすめ映画を相談できるほか、2026年10月26日（月）から開催される第39回東京国際映画祭の上映作品についても質問したり、おすすめを教えてもらうことができます。

これまで劇場マナーCMやSNSなどを中心に映画愛を発信してきた『A Cinematic Girl』が、今回のAIエージェント化によって、一人ひとりと映画について語り合える存在へと進化します。

「なに観る？」

そんな何気ない問いかけから、まだ知らない映画との出会いが生まれる、新しい映画体験を提案します。

## ■ 映画好きの彼女と、いつでも映画の話ができる



『A Cinematic Girl』は、都内の大学に通う、とにかく映画が大好きな21歳の女の子。配信でも楽しむけれど、映画館の夢中になれる雰囲気が好きで、ほぼ週1ペースで通っている。「a\_cinematic\_girl」というSNSアカウントで、映画にまつわる日々の記録を気まぐれに投稿中。今回公開するサービスでは、そんな彼女とWEB上で映画について会話することができます。

「週末に観るおすすめの映画は？」

「最近、ちょっと疲れているから元気が出る映画を教えて」

「この映画が好きなんだけど、似た作品ってある？」

その日の気分や好きな作品などを伝えることで、おすすめの映画を相談することができます。映画に詳しい人も、何を観たらいいかわからない人も。まるで映画好きの友達とおしゃべりするような感覚で、気軽に映画について話せるサービスです。

## ■ 第39回東京国際映画祭の上映作品についても相談できる！



### 【東京国際映画祭とは】

日本で唯一の国際映画製作者連盟（FIAPF）公認の長編コンペティティブ国際映画祭。1985年、日本初の大規模な映画の祭典として誕生、「東京から映画の可能性を発信し、多様な世界との交流に貢献する」をミッションとし、世界中から集められた映画を通して、国内外の映画人、映画ファンが様々な才能とその感動に出会い、交流する場を提供しています。毎年秋に日比谷・有楽町・丸の内・銀座地区にて開催。2026年には世界の映画祭の中でも特に国際的影響力の高い「A フェスティバル」として認定されました。

2026年10月26日（月）から11月4日（水）まで開催される第39回東京国際映画祭。

世界各国から多彩な映画が集まるこの機会に、『A Cinematic Girl』は映画祭の上映作品についての質問にも対応します。

「今年の東京国際映画祭では、どんな映画が上映されるの？」

「初めて映画祭に行くんだけど、おすすめの作品は？」

「恋愛映画が好きな私におすすめの作品はある？」

そんな質問をきっかけに、映画祭の上映作品を知ったり、200本以上の上映作品の中から自分の興味に合う一本を探したりすることができます。普段から映画祭に足を運んでいる映画ファンはもちろん、これまで映画祭に馴染みがなかった方にも、映画との新たな出会いを楽しんでもらうことを目指します。

第39回東京国際映画祭 公式サイト：<https://2026.tiff-jp.net/ja/>

## ■ サービス概要

- ・サービス名：『A Cinematic Talk by A Cinematic Girl』対話型AI映画コンシェルジュ
- ・サービス期間：2026/10/16(金)～2026/11/4 24:00
- ・利用方法：ウェブサイト(a-cinematic-talk.com)からアクセス
- ・主要機能：おすすめ映画の相談、映画に関する質問、第39回東京国際映画祭上映作品についての案内

※本サービスには生成AIを使用しています。回答内容には不正確な情報が含まれる場合があります。東京国際映画祭の上映情報・スケジュール等については、必ず映画祭公式サイトをご確認ください。

※なお、本サービスは博報堂と博報堂D Yグループのテクノロジー専門会社である博報堂テクノロジーズが開発に携わっております。

## ■ 『A Cinematic Girl』プロジェクトについて

『A Cinematic Girl（ア・シネマティック・ガール）』は、東京テアトル株式会社が2026年1月30日に始動した、「映画愛」をコンセプトにしたキャラクタープロジェクトです。

キャラクターデザインを担当したのは、『攻殻機動隊 SAC\_2045』などで知られるイラストレーター、イリヤ・クブシノブ氏。

テアトルシネマグループの劇場マナーCMやオリジナルグッズ、SNSなど、さまざまな形で映画へのときめきと愛情を表現してきました。

プロジェクトの根底にあるのは、「彼女の存在が、誰かの映画を観るきっかけになれば」という思い。

今回のAIエージェント化を通じて、その思いをさらに広げていきます。

・プロジェクト始動時のプレスリリース：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000117798.html>

## ■ Instagramやオリジナルグッズでも『A Cinematic Girl』の世界を楽しもう！

『A Cinematic Girl』は、Instagramでも映画の魅力を発信中！公式アカウント「@a\_cinematic\_girl」では、おすすめ映画の紹介や映画にまつわる日々の出来事など、映画好きの彼女の日常をお届けしています。

公式Instagram（@a\_cinematic\_girl）[https://www.instagram.com/a\\_cinematic\\_girl/](https://www.instagram.com/a_cinematic_girl/)



## ■ 『A Cinematic Girl』 グッズ

キャラクターデザインを手掛けたイリヤ・クブシノブ氏のイラストを使用したオリジナルグッズも販売中。スウェットやキャップ・トートバッグ・ステッカーなど、映画への愛情が詰まったアイテムをラインナップ。映画館へ出かけるときはもちろん、普段の生活でも使用できるグッズを展開しています。



### 【オリジナルグッズ第1弾 ラインナップ】

ACG Sweat : 6,300円 (税込)

ACG Cap : 5,200円 (税込)

ACG Socks : 2,300円 (税込)

ACG Tote Bag : 3,200円 (税込)

ACG Sticker Set : 750円 (税込)

販売場所 : テアトルシネマグループ各劇場、公式オンラインストアほか

公式オンラインストア :

<https://ttcg.official.ec/categories/7297282>

オリジナルグッズ紹介リリース

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000117798.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000017.000117798.html)

※店舗によって取り扱い商品・在庫状況が異なる場合があります。最新の販売状況は各店舗またはオンラインストアにてご確認ください。

AIエージェントで彼女とおしゃべりしたあとは、Instagramやオリジナルグッズでも『A Cinematic Girl』の世界をぜひお楽しみください。

【Staff List】

Creative Director : YUTAKA SONE

Art Director : MAI KATADA

Planner : NATSUMI KURASHIKI

Content Producer : TAISUKE KUMADA

Content Producer : YUTO TANIMOTO

Technical Lead: KOHKI MAMETANI

Product Manager : YUTO TANIMOTO

Product Manager : SHOHEI KODAMA

Product Manager : GENKI NAKANISHI

■ 東京テアトル株式会社

<https://www.theatres.co.jp>

■ テアトルシネマグループ

<https://ttcg.jp/>